

給付奨学金継続願(編入学の2／認定専攻科進学)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿  
下記のとおり編入学(又は認定専攻科に進学)しましたので、引き続き給付奨学金の継続をお願いします。なお、給付奨学金の継続を願い出るにあたり、私は、給付奨学金確認書提出時に同意した内容についても、引き続き承諾したうえで提出します。

●奨学生記入欄(漏れなくすべて記入又は選択してください。また、年月日の年は西暦で記入してください。)※裏面も記入してください。

◆基本情報

誓約日		2	0	2	2	年		月		日
本人氏名(カタカナ)		(セイ)		(メイ)		転出校で支給を受けていた給付奨学生番号				
						520				
本人氏名(漢字)		(姓)		(名)		生年月日		性別(任意)		
						西暦年		月	日	男・女
本人現住所		〒				本人連絡先				
						電話番号 ( )				
						携帯番号 ( )				

↓ 国籍が「日本以外」の場合は、「国籍」以外の該当箇所も記入又は選択してください。

国籍	日本・日本以外	永住の意思	あり・なし	在留資格		在留期限	年	月	日	延長申請	済・未
----	---------	-------	-------	------	--	------	---	---	---	------	-----

◆学校情報(転入校) ※太枠内(学校番号、学校校舎区分、学部・学科コード、給付始期及び給付終期)は転入校担当者がご記入ください。

学校番号	学校名		(編)入学年月日		西暦年	月	日
区分	学部・学科コード	学部・学科名等		(編)入学年次	年		
給付始期	給付終期	学籍番号	昼・夜・通信(該当に○)	卒業予定年月	西暦年	月	
年※	月	年※	月				
キャンパス住所	〒		※郵便番号は、郵便局HPから検索して記入してください。		認定専攻科	□(該当の場合は☑)	
					修業年限	年	

◆学校情報(転出校) ※認定専攻科進学の場合は、進学前の学校情報を記入してください。

学校名	入学年月	西暦年	月	卒業(修了)年月日	西暦年	月	日
学部・学科名等	※通信課程の場合は、必ず「通信課程」と記入してください。		卒業(修了)年次		年		
		※高専の場合、4年次進級年月を記入してください。					

◆国費による支援

あなたは、現在、以下の支援を受けていますか(ハローワークや役所からあなた自身が受けている給付金があれば、該当するものがないか必ず確認してください)。 ・教育訓練支援給付金 ・訓練延長給付、技能習得手当及び寄宿手当 ・職業訓練受講給付金 ・高等職業訓練促進給付金 ・職業転換給付金 ※右の「支援を受けている」にチェックをつけた場合、給付奨学金の支給月額は0円となります。 ※国費による支援の終了にあたっては、別途「国の給付金受給状況変更届(給付様式2-2)」を学校へ提出する必要があります。 また、編入学をした次月以降に国費による支援を受ける場合も当該届出が必要です。	□支援を受けている
---	-----------

◆支給停止希望

次に例示する理由等により、編入学月振込からの支給の停止を希望しますか。 ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある。 ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある。
□支給停止を希望する(チェックをつけると奨学金の支給は停止します)
上の「支給停止を希望する」にチェックをつけた場合は、給付奨学金の支給停止を希望する理由を選択してください。
□(編)入学年月日時点で休学中 □他団体の奨学金の利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が不可 □その他( )

◆資産額

あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。資産額が0円の場合や生計維持者が存在しない場合は、空欄とせず『0』と記入してください。						
あなた	万円	生計維持者①	万円	生計維持者②	万円	合計
あなたと生計維持者(原則父母)の資産の合計額は2,000万円未満(生計維持者が一人の場合は1,250万円未満)ですか。						
□はい □いいえ						
※資産の合計額が上記の基準を超える場合は、10月から翌年9月まで給付奨学金の支給が停止されます。なお、編入学月から9月までは転出校で決定済みの支援区分が引き継がれます(3か月ごとに支援区分を見直す家計急変採用を除く)。 【秋に編入学等をし、本様式を提出する場合の留意点】 ①転出校で2022年度に採用された者(522で始まる給付奨学生番号の者)が、秋に編入学等をし、本様式を提出する場合は、◆「資産額」欄の記入は不要です。 ②転出校で2021年度以前に採用され、2022年4月の在籍報告を行った場合は、◆「資産額」欄の記入は不要です。 ③転出校で2021年度以前に採用され、2022年4月の在籍報告を行わ(え)なかった者が、「いいえ」にチェックをつけた場合は、10月から翌年9月まで給付奨学金の支給が停止されます。						

〔給付様式7-2 裏〕

新給付 編入学の2／認定専攻科進学

●奨学生記入欄  
◆自宅・自宅外通学

あなたの通学形態を選択してください。  
※「自宅外通学」が適用される要件(目安)は、次のとおりです。  
①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上  
②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上  
③実家から大学等までの通学費が月1万円以上  
④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下  
⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

☐自宅通学(又はそれに準ずる) ☐自宅外通学  
☐通信課程のため、通学形態によって支給額が設定されない

上記設問で「自宅外通学」を選択した場合

「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状」(給付様式35)に自宅外通学を証明する書類を添付して、学校へ提出する必要があります。また、「自宅外通学」を選択する場合でも、当初は自宅通学の支給月額が振り込まれます。自宅外月額での振込みは、自宅外通学関係書類を提出し、不備なく審査終了した後になります。また、自宅外月額と審査終了前に振込済みの自宅月額の差額も振り込まれます。

◆振込口座 ※記号・番号を記入する際は、末尾を右づめで記入してください。

金融機関名	銀行・信用金庫 ・労働金庫・信用組合	金融機関コード	預金種目	普通(総合)
店名	支店・出張所	店番号	口座番号	
ゆうちょ銀行(記号 - 番号)				※本人名義の普通預金口座(ゆうちょ銀行は通常貯金口座)のみ。

◆生計維持者情報 ※該当する選択肢すべてにチェックをつけてください。

・「転出校における最後の在籍報告」時点と比較し、変更の有無を記入してください。なお、在籍報告を行っていない場合は「転出校で支給を受けていた給付奨学金の申込」時点と比較してください。

人物の変更	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 再婚等による人物の追加・変更	<input type="checkbox"/> 離婚等による人物の削除
人物の情報の変更	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 姓の変更	<input type="checkbox"/> 生年月日の訂正 <input type="checkbox"/> 住所の変更

・上記「人物の変更」又は「人物の情報の変更」で「あり」にチェックをつけた場合は、以下も記入してください。

※人物の追加・変更がある場合は、継続承認後、対象となる人物についてマイナンバー等の提出が必要となります。

変更後のすべての生計維持者とその情報を記入又は選択してください。下記に記載のない生計維持者は削除されます。また、今回削除する生計維持者がいる場合は、右からその理由を1つ選択してください。

☐死別  
☐離婚等(離婚調停中、DVによる別居中等を含む)により別生計  
☐生死不明、意識不明、精神疾患等のため意思疎通不可  
☐申込者本人は結婚しており、現在は父母等ではなく配偶者に扶養されている、又は配偶者を扶養している

変更対象の生計維持者①の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。

氏名(カナ)	続柄	父・母・本人 ・その他( )	生年月日(西暦)	年	月	日
氏名(漢字)			2022年1月1日現在の生活保護受給状況	<input type="checkbox"/> 受給していない	<input type="checkbox"/> 受給している	
現住所	〒					

変更対象の生計維持者②の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。

氏名(カナ)	続柄	父・母・本人 ・その他( )	生年月日(西暦)	年	月	日
氏名(漢字)			2022年1月1日現在の生活保護受給状況	<input type="checkbox"/> 受給していない	<input type="checkbox"/> 受給している	
現住所	〒					

◆重要事項確認(必須)

給付奨学金の継続申請にあたって、以下の事項をすべて確認し、確認後、「はい」にチェックをつけてください。

確認事項	はい(理解している)
①学業成績や経済状況が基準を満たさない場合、給付奨学金の支給を受けられなくなることがあります。	はい <input type="checkbox"/>
②給付奨学金支給中は様々な届出や報告が必要です。必要な手続きを行わない場合、給付奨学金の支給が止まります。	はい <input type="checkbox"/>
③やむを得ない理由がなく学業成績が著しく不振の場合、給付奨学金でも返還が必要になることがあります。	はい <input type="checkbox"/>
④給付奨学金の支給額は、家計急変採用を除き、毎年10月に、あなた及び生計維持者(父母等)の経済状況に応じて見直されます。	はい <input type="checkbox"/>
⑤虚偽の申告で給付奨学金を得た場合は、受け取った金額の100分の140を返金しなければならないことがあります。	はい <input type="checkbox"/>

●学校記入欄

上記のとおり、編入学により本学に転入(又は認定専攻科に進学)したことを証明し、願出は適当と認めます。

(転入校の証明) 20 年 月 日

学 校 名

学 校 長

【注1】表面「◆学校情報(転入校)」の該当箇所に「学校番号、学校校区分、学部・学科コード、給付始期及び給付終期」を必ず記入してください。  
【注2】「自宅外通学」を選択する場合、「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状」(給付様式35)は以下の①②のとおり取り扱ってください。

①「奨学生番号」、「採用候補者決定通知登録番号」、「進学届入力日」欄はいずれも記入不要です。  
② 定期採用の場合は採用課採用係に、家計急変採用の場合は特別採用課家計急変係に、本願と併せて郵送してください。

該当する採用種別に☑
<input type="checkbox"/> 定期採用…採用係受付 <input type="checkbox"/> 家計急変採用…家計急変係受付
電話番号(担当者名) - - ( )

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務及び奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

## 給付奨学金継続願(編入学の2/認定専攻科進学)について

### 1. 継続支給の対象者と、継続支給が認められる条件(※1)(※2)

対象者	継続支給が認められる条件	編入学の状況	支給期間
<b>&lt;編入学の2&gt;</b> 短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程で本機構の給付奨学生であった者で、卒業又は修了し、大学に編入学した者	① 学校教育法に定める編入学制度に基づいて編入学したこと(※3) ② 卒業・修了後1年未満であること(※4)	引き続き継続年次へ進級  カリキュラム上同一年次を履修	編入学後の正規の修業年限まで(※7)
専修学校以外の大学等で本機構の給付奨学生であった者で、卒業せずに、2年制以上の専門学校の2年次以上に入学した者(※5)	① 当該専門学校に入学前の学校を卒業・修了していないこと ② 当該専門学校に入学前の学校に在学しなくなってから1年未満の入学(2年次以上への入学に限る。)であること(※4)	2年次以上に入学	入学後の正規の修業年限まで(※7)
<b>&lt;認定専攻科進学&gt;</b> 短期大学・高等専門学校で本機構の給付奨学生であった者で、卒業又は修了した者	① 認定専攻科への進学であること(※6) ② 卒業後1年以内であること(※4)		進学した認定専攻科の正規の修業年限まで(※7)

- ※1 転出校で支給を受けていた給付奨学生番号が支援対象外となっても、継続を申請することができます。
- ※2 災害、傷病、その他やむを得ない事由があると認められる場合を除き、転出校で成績不振による「廃止」(警告の区分に連続して該当する場合を除く。)に該当する場合は支援対象となりません。適格認定(学業)の状況が確認できない場合は、転出校に確認してください。
- ※3 大学の専攻科・別科、短期大学や専修学校専門課程へ編入学した場合は支援対象となりません。
- ※4 編入学の場合、編入学の前に在学した学校に在学しなくなしてから、編入学をした日までに1年以上が経過した者は、支援対象となりません。また、認定専攻科進学の場合、卒業・修了から認定専攻科への進学年月までに1年以上が経過した者は、支援対象となりません。
- ※5 専修学校以外の大学等で給付奨学生であった者が、卒業せずに、2年制以上の専門学校の2年次以上に入学した場合は、貸与奨学金と異なり、「給付奨学金継続願(編入学の2/認定専攻科進学)」による継続申請となります。
- ※6 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた専攻科に限り対象となります。
- ※7 支給期間は、転出校において給付奨学金を支給された期間と通算して、72か月を上限とします。  
 (例1) 修業年限2年の専修学校専門課程を修了後、修業年限4年の大学の2年次に編入学した場合(2年次を重複)は、大学4年次まで支給を受けることができます。  
 (例2) 修業年限2年の短期大学を修了後、修業年限6年の大学の2年次に編入学した場合(2年次を重複)は、大学5年次修了まで支給を受けることができますが、大学6年次は支給を受けることができません。(72か月ー短期大学での支給期間24か月＝大学での支給可能期間48か月)。
- 【注】 同一学種間の異動であっても、転出校と転入校のいずれかが通信教育課程である場合は、「編入学の1」でなく「編入学の2」の様式を使用して願い出てください。ただし、転出校と転入校がいずれも通信教育課程の場合は、「編入学の1」の様式を使用して願い出てください。

### 2. 転入校への提出書類

- ①給付様式7-2「給付奨学金継続願(編入学の2/認定専攻科進学)」  
 ※「編入学の2」と「認定専攻科進学」は共通の様式です。
- ②自宅外通学の証明書類(該当者のみ)  
 自宅外通学の基準に該当し、給付奨学金の自宅外月額を支給を希望する者は、自宅外通学を証明する書類を「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状」(給付様式35)に添付し、転入校へ提出する必要があります。自宅外通学を証明する書類としてどのようなものが必要であるかは、「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状」(給付様式35)裏面の要件確認チャートで確認してください。  
**※給付様式35と自宅外通学を証明する書類は、給付様式7-2と併せて転入校に提出してください。**
- ③在留資格の証明書類(該当者のみ)  
 あなたが外国籍で在留資格が「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」又は「定住者」の場合は、「在留カード(コピー)」「特別永住者証明書(コピー)」「住民票の写し(原本)」等、在留資格・在留期間(満了日)が明記されている書類のいずれか1点を、「給付奨学金「在留資格証明書類」提出書」(給付様式34)に添付し、転入校へ提出する必要があります。また、誓約日時点で在留期限が経過している場合は、延長申請中の書類(コピー)を加えて転入校に提出してください。  
**※給付様式34と在留資格・在留期間(満了日)が明記されている書類は、給付様式7-2と併せて転入校に提出してください。**

※裏面もご確認ください※





給付奨学金継続願(編入学の2／認定専攻科進学) 記入例

●奨学生記入欄(漏れなくすべて記入又は選択してください。また、年月日の年は西暦で記入してください。)※裏面も記入してください。

誓約日		2 0 2 2 年 0 4 月 0 1 日																					
本人氏名(カタカナ) (セイ)												転出校で支給を受けていた給付奨学生番号											
ショウガク												タロウ											
5 2 1 0 8 1 2 3 4 5 6																							
本人氏名(漢字) (姓)												生年月日 西暦年 月 日											
奨学												太郎											
2 0 0 1 0 5 0 1												男 女											
本人現住所 〒162-XXXX 東京都新宿区X-X-X												本人連絡先 電話番号 03 (0000) 0000 携帯番号 070 (0000) 0000											
国籍が「日本以外」の場合は、「国籍」以外の該当箇所も記入又は選択してください。																							
国籍		日本		日本以外		永住の意思		あり		なし		在留資格		定住者		在留期限		2024 年 11 月 11 日		延長申請		済・未	

●学校情報(転入校) ※太枠内(学校番号、学校校舎区分、学部・学科コード、給付始期及び給付終期)は転入校担当者がご記入ください。

学校番号												学校名											
1 0 9 9 9 0												日本学生支援大学											
区分												学部・学科コード											
0 1 9 9 9 9												経営学部 経営学科											
給付始期												給付終期											
22 4 24 3												12345678A											
キャンパス住所												135-XXXX											
東京都江東区X-X-X												※郵便番号は、郵便局HPから検索して記入してください。											
入学年月												卒業(修了)年月日											
2 0 2 0 0 4												2 0 2 2 0 3 3 1											
認定専攻科												□(該当の場合は☑)											
修業年限												4 年											

●学校情報(転出校) ※認定専攻科進学の場合は、進学前の学校情報を記入してください。

学校名												入学年月											
日本奨学専門学校												2 0 2 0 0 4											
学部・学科名等												卒業(修了)年月日											
ビジネスコース												2 0 2 2 0 3 3 1											
卒業(修了)年次												2 年											

●国費による支援

あなたは、現在、以下の支援を受けていますか(ハローワークや役所からあなた自身が受けている給付金があれば、該当するものがないか必ず確認してください)。												□支援を受けている											
・教育訓練支援給付金 ・訓練延長給付、技能習得手当及び寄宿手当 ・職業訓練奨励給付金 ・高等職業訓練促進給付金 ・職業転換給付金																							
※右の「支援を受けている」にチェックをつけた場合、給付奨学金の支給月額額は0円となります。 ※国費による支援の終了にあたっては、別途「国の給付金受給状況変更届(給付様式2-2)」を学校へ提出する必要があります。 また、編入学をした次月以降に国費による支援を受ける場合も当該届出が必要です。																							

●支給停止希望

次に例示する理由等により、編入学月振込分からの支給の停止を希望しますか。  
・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある。  
・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある。

□支給停止を希望する(チェックをつけると奨学金の支給は停止します)  
上の「支給停止を希望する」にチェックをつけた場合は、給付奨学金の支給停止を希望する理由を選択してください。

□(編)入学年月日時点で休学中  
□他団体の奨学金の利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が不可  
□その他( )

●資産額

あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。資産額が0円の場合や生計維持者が存在しない場合は、空欄とせず「0」と記入してください。

あなた	0 万円	生計維持者①	50 万円	生計維持者②	10 万円	合計	60 万円
-----	------	--------	-------	--------	-------	----	-------

あなたと生計維持者(原則父母)の資産の合計額は2,000万円未満(生計維持者が一人の場合は1,250万円未満)ですか。

☑はい □いいえ

※資産の合計額が上記の基準を超える場合は、10月から翌年9月まで給付奨学金の支給が停止されます。なお、編入学月から9月までは転出校で決定済みの支援区分が引き継がれます(3か月ごとに支援区分を見直す家計急変採用を除く)。  
【秋に編入学等をし、本様式を提出する場合の留意点】  
①転出校で2022年度に採用された者(522で始まる給付奨学生番号の者)が、秋に編入学等をし、本様式を提出する場合は、◆「資産額」欄の記入は不要です。  
②転出校で2021年度以前に採用され、2022年4月の在籍報告を行った場合は、◆「資産額」欄の記入は不要です。  
③転出校で2021年度以前に採用され、2022年4月の在籍報告を行わ(え)なかった者が、「いいえ」にチェックをつけた場合は、10月から翌年9月まで給付奨学金の支給が停止されます。

◆共通の注意事項

「給付様式7-2資料」及び「給付様式7-2記入例」(本紙)をよく読んでから記入を始めてください。漏れなく、楷書でていねいに記入してください。記入が必要な箇所は、表面と裏面両方にあります。黒又は青のボールペンで記入してください。鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンは使用できません。

◆基本情報

- 誓約日  
…継続願の記入を行った年月日(2022年4月1日以降の日付)を、西暦で記入してください。
- 本人氏名  
…左詰めで、1マスに1字記入してください。カタカナ欄は、濁点(・)、半濁点(゜)、拗音(ッ・ヤ・ユ・ヨ等)も1マス使用してください。  
漢字欄は姓・名それぞれ5文字まで、カタカナ欄は姓・名それぞれ15文字まで記入できます。  
それぞれの制限文字数を超える場合は、書けるところまでを記入してください(氏名が途切れていてもかまいません)。  
ミドルネームは、名とつなげて記入してください。  
カナ氏名は、振込口座の口座名義人と同一のカナ氏名を記入してください。

- 国籍が「日本以外」の場合  
…あなたが外国籍で在留資格が「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」又は「定住者」の場合は、永住の意思、在留資格及び在留期限(満了日)を記入又は選択してください。また、誓約日時点で在留期限が経過している場合は、延長申請の状況を選択してください。

◆学校情報(転入校)…あなたが編入学、進学等した学校

- キャンパス住所  
…事業所郵便番号(個別番号)ではなく、住所にもとづく郵便番号を記入してください。  
住所にもとづく郵便番号は、郵便局HPから検索できます。
- 修業年限  
…「あなたの学部等が何年制課程か」という意味です。「あと何年通うか」という意味ではありません。  
※太枠内(学校番号、学校校舎区分、学部・学科コード、給付始期及び給付終期)は転入校担当者が記入します。

◆学校情報(転出校)…あなたが卒業、修了、退学等をした学校

- 学部・学科名等  
…通信課程の場合は、必ず「通信課程」と記入してください。
- 入学年月  
…あなたが転出校に入学した年月を記入してください。  
ただし、高等専門学校の場合は、4年次に進級した年月を記入してください。
- 卒業(修了)年月日  
…あなたが転出校を卒業又は修了した年月日(退学の場合はその年月日)を記入してください。

◆国費による支援

編入学月以前からあなた自身が国費による支援を受けている場合は、「支援を受けている」にチェックをつけてください。チェックをつけると、給付奨学金の支給月額額は0円となります。

※日本学生支援機構の給付奨学金自体は、「国費による支援」にはあたりません。  
※あなた自身でなく生計維持者(原則父母)が国費による支援を受けている場合は、「国費による支援」にはあたりません。

◆資産額

あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。資産額が0円の場合や生計維持者が存在しない場合は、空欄とせず「0」と記入してください。

〔給付様式7-2 裏〕

- 奨学生記入欄  
◆自宅・自宅外通学

あなたの通学形態を選択してください。 ※「自宅外通学」が適用される要件(目安)は、次のとおりです。 ①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上 ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上 ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上 ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下 ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合		<input checked="" type="checkbox"/> 自宅通学(又はそれに準ずる) <input type="checkbox"/> 自宅外通学 <input type="checkbox"/> 通信課程のため、通学形態によって支給額が設定されない  <b>上記設置で「自宅外通学」を選択した場合</b> 「通学形態変更届兼自宅外証明書送付状」(給付様式35)に自宅外通学を証明する書類を添付して、学校へ提出する必要があります。 また、「自宅外通学」を選択する場合でも、当初は自宅通学の支給月額が振り込まれます。自宅外月額での振込みは、自宅外通学関係書類を提出し、不備なく審査終了した後になります。また、自宅外月額と審査終了前に振込済みの自宅月額との差額も振り込まれます。
--	--	--

- ◆振込口座 ※記号・番号を記入する際は、末尾を右づめで記入してください。

金融機関名	三菱UFJ銀行	振替・信用金庫・労働金庫・信用組合	金融機関コード	0 0 0 5	預金科目	普通(総合)
店名	関東東京	支店・出張所	店番号	9 9 9	口座番号	1 2 3 4 5 6 7
ゆうちょ銀行(記号 - 番号)						※本人名義の普通預金口座(「ゆうちょ銀行」は通常貯金口座)のみ。

- ◆生計維持者情報 ※該当する選択肢すべてにチェックをつけてください。

・「転出校における最後の在籍報告」時点と比較し、変更の有無を記入してください。なお、在籍報告を行っていない場合は「転出校で支給を受けていた給付奨学金の申込」時点と比較してください。

人物の変更	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 再婚等による人物の追加・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 離婚等による人物の削除
人物の情報の変更	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 姓の変更	<input type="checkbox"/> 生年月日の訂正 <input checked="" type="checkbox"/> 住所の変更

・上記「人物の変更」又は「人物の情報の変更」で「あり」にチェックをつけた場合は、以下も記入してください。

変更後のすべての生計維持者とその情報を記入又は選択してください。下記に記載のない生計維持者は削除されます。また、今回削除する生計維持者がいる場合は、右からその理由を1つ選択してください。		<input type="checkbox"/> 死別 <input checked="" type="checkbox"/> 離婚等(離婚調停中、DVIによる別居中等を含む)により別生計 <input type="checkbox"/> 生死不明、意識不明、精神疾患等のため意思疎通不可 <input type="checkbox"/> 申込者本人は結婚しており、現在は父母等ではなく配偶者に扶養されている。又は配偶者を扶養している
---	--	--

変更対象の生計維持者①の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。		生年月日(西暦)		1 9 7 0	年	1 1	月	0 1	日
氏名(カナ)	ショウガク ハナコ	続柄	父・母・本人	2022年1月1日現在の生活保護受給状況		<input checked="" type="checkbox"/> 受給していない <input type="checkbox"/> 受給している			
氏名(漢字)	奨学 花子	続柄	その他( )						
現住所	〒206-XXXX 神奈川県横浜市X-X-X								
変更対象の生計維持者②の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。									
氏名(カナ)		続柄	父・母・本人	生年月日(西暦)			年	月	日
氏名(漢字)		続柄	その他( )	2022年1月1日現在の生活保護受給状況		<input type="checkbox"/> 受給していない <input type="checkbox"/> 受給している			
現住所									

- ◆重要事項確認(必須)

給付奨学金の継続申請にあたって、以下の事項をすべて確認し、確認後、「はい」にチェックをつけてください。	
確認事項	はい(理解している)
①学業成績や経済状況が基準を満たさない場合、給付奨学金の支給を受けられなくなることがあります。	はい <input checked="" type="checkbox"/>
②給付奨学金支給中は様々な届出や報告が必要です。必要な手続きを行わない場合、給付奨学金の支給が止まります。	はい <input checked="" type="checkbox"/>
③やむを得ない理由がなく学業成績が著しく不振の場合、給付奨学金でも返還が必要になることがあります。	はい <input checked="" type="checkbox"/>
④給付奨学金の支給額は、家計急変採用を除き、毎年10月に、あなた及び生計維持者(父母等)の経済状況に応じて見直されます。	はい <input checked="" type="checkbox"/>
⑤虚偽の申告で給付奨学金を得た場合は、受け取った金額の100分の140を返金しなければならないことがあります。	はい <input checked="" type="checkbox"/>

- 学校記入欄

上記のとおり、編入学により本校に転入(又は認定専攻科に進学)したことを証明し、願い出は適当と認めます。

(転入校の証明) 20 年 月 日

学 校 名		該当する採用種別 <input checked="" type="checkbox"/>
学 校 長		<input type="checkbox"/> 定期採用…採用係受付 <input type="checkbox"/> 家計急変採用…家計急変係受付
電話番号(担当書名)	- - - ( )	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務及び奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

- ◆振込口座

- ゆうちょ銀行の場合は、「ゆうちょ銀行(記号-番号)」のみ記入してください。

ゆうちょ銀行(記号 - 番号)	1 1 1 1 1 - 7 6 5 4 3 2 1
-----------------	---------------------------

- ゆうちょ銀行以外の金融機関の場合は、「ゆうちょ銀行(記号-番号)」以外の箇所をすべて記入してください。(左図の記入例を参考にしてください。)

※ 振込口座は、「奨学生本人名義」の普通預金口座(ゆうちょ銀行は通常貯金口座)に限ります。

- ◆生計維持者情報

「転出校における最後の在籍報告」時点と比較し、変更の有無を記入してください。なお、在籍報告を行っていない場合は「転出校で支給を受けていた給付奨学金の申込」時点と比較してください。

以下に、状況別の記入例を①～③の3パターン示します。

- ①人物変更も情報変更もない場合

…「人物の変更」「人物の情報の変更」ともに「なし」にチェックをつけます。その他は記入不要です。

人物の変更	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 再婚等による人物の追加・変更	<input type="checkbox"/> 離婚等による人物の削除
人物の情報の変更	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> 姓の変更	<input type="checkbox"/> 生年月日の訂正 <input type="checkbox"/> 住所の変更

- ②父母2名が生計維持者だったが離婚し、母だけとなった場合。また、離婚により母が改姓と住所変更をした場合。

…「人物の変更」「人物の情報の変更」ともに「あり」にチェックをつけます。

「離婚等による人物の削除」「姓の変更」「住所の変更」にチェックをつけます。  
父を生計維持者から削除するため、「離婚等(離婚調停中、DVIによる別居等を含む)により別生計」にチェックをつけます。  
引き続き生計維持者となる母の情報を変更するため、改姓後の氏名、続柄、生年月日、生活保護受給状況、変更後の現住所をすべて記入します。  
(左図の記入例を参考にしてください。)

- ③母が再婚し、改姓した場合

…「人物の変更」「人物の情報の変更」ともに「あり」にチェックをつけます。

「再婚等による人物の追加・変更」「姓の変更」にチェックをつけます。  
父を生計維持者に追加するため、氏名、続柄、生年月日、生活保護受給状況、現住所をすべて記入します。  
引き続き生計維持者となる母の情報が変更されているため、改姓後の氏名、続柄、生年月日、生活保護受給状況、現住所をすべて記入します。

人物の変更	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再婚等による人物の追加・変更	<input type="checkbox"/> 離婚等による人物の削除
人物の情報の変更	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> 姓の変更	<input type="checkbox"/> 生年月日の訂正 <input type="checkbox"/> 住所の変更

・上記「人物の変更」又は「人物の情報の変更」で「あり」にチェックをつけた場合は、以下も記入してください。

※人物の追加・変更がある場合は、継続承認後、対象となる人物についてマイナンバー等の提出が必要となります。

変更後のすべての生計維持者とその情報を記入又は選択してください。下記に記載のない生計維持者は削除されます。また、今回削除する生計維持者がいる場合は、右からその理由を1つ選択してください。		<input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 離婚等(離婚調停中、DVIによる別居中等を含む)により別生計 <input type="checkbox"/> 生死不明、意識不明、精神疾患等のため意思疎通不可 <input type="checkbox"/> 申込者本人は結婚しており、現在は父母等ではなく配偶者に扶養されている。又は配偶者を扶養している								
変更対象の生計維持者①の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。										
氏名(カナ)	キコウ イチロウ	続柄	父・母・本人	生年月日(西暦)	1 9 7 0	年	0 6	月	1 0	日
氏名(漢字)	機構 一郎	続柄	その他( )	2022年1月1日現在の生活保護受給状況		<input checked="" type="checkbox"/> 受給していない <input type="checkbox"/> 受給している				
現住所	〒153-XXXX 東京都目黒区X-X-X									
変更対象の生計維持者②の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。										
氏名(カナ)	キコウ ハナコ	続柄	父・母・本人	生年月日(西暦)	1 9 7 0	年	1 1	月	0 1	日
氏名(漢字)	機構 花子	続柄	その他( )	2022年1月1日現在の生活保護受給状況		<input checked="" type="checkbox"/> 受給していない <input type="checkbox"/> 受給している				
現住所	〒153-XXXX 東京都目黒区X-X-X									

※ 生計維持者の変更がある場合は、生計維持者の考え方について学校に確認したうえで記入してください。  
※ 人物の追加・変更がある場合は、継続承認後、対象となる人物についてマイナンバー等の提出が必要となります。